

第 14 回 防災フォーラム 2022 「障害者と考える地域の防災」 アンケート集計

年齢は： 20代 (1) 30代 (3) 40代 (5) 50代 (11) 60代 (17)
70代 (31) 80歳以上 (1)

お住まいは： 荻窪 (15) 南荻窪 (8) 宮前 (5) 高井戸 (2) 上荻 (2) 井草 (2)
天沼 (5) 本天沼 (5) 清水 (1) 阿佐ヶ谷 (4) 成田 (2)
その他 (10) 杉並区以外 (5)

1. 各催しについて、感想をお聞かせください。

- (1) 「障害によって災害時の対応はどう違うのか」(身体障害者協会：高橋博氏)
①役に立った・興味深かった (40) ②普通 (10) ③あまり役立たなかった (1)
④その他 (1) (町会の中での対象者の確認、プライバシー等の制約なしに情報公開と共有が大切と思って活動)
- (2) 「障害者の在宅避難確保を目指す立場から」(ほっとけない連：佐藤弘美氏)
①役に立った・興味深かった (47) ②普通 (3) ③あまり役立たなかった
④その他 (1)
- (3) 「医療的ケア児・者支援の立場から」(みかんぐみ：村一浩氏)
①役に立った・興味深かった (46) ②普通 (5) ③あまり役立たなかった
④その他 ()
- (4) 杉並区の防災対策(防災課：土田課長、保健福祉部：西山係長)
①役に立った・興味深かった (37) ②普通 (12) ③あまり役立たなかった (1)
④その他 (1)

※ 講演会についてお気づきのこと、感想など

- ・テーマに沿った事例紹介で、とても分かりやすくお話を聞くことができた
- ・震災時の水の確保方法について実際的なことを調べることの必要性を感じた(雨水利用など)
- ・具体的に話していただいたので非常によくわかった
- ・障害者とのふれあいが日常にないため大変勉強になった
- ・普段忘れていたことを思い出す機会になるので有効だった (2)
- ・災害時、誰でもが大変な時、障害者・関係者はどれほどの苦労かと考えると気が重くなった
- ・中学生レスキューを知り、近所の中学生に是非聞いて見たい
- ・救護所の運営に精いっぱい普段ここまで考えられなかったのが今回は良かった
- ・たすけあいネットワークの講演を聞いて気付いたこと
救護所立ち上げ時、救助班 3~4 名/班を 3~4 班編成と考えていたが、その前に安否確認

班

3~4 名が最初に必要と改めて気づいた

- ・震災時に人工呼吸器などの重篤な人を救護所に避難させることは無理があるのでは？緊急医療救護所での対応が望ましいと思うがどうでしょうか？
- ・とても有益なお話を聴けた。勉強になった (3)
- ・障害者の避難先や対応など今まで震災救護所の会議で話し合いが充分ではなかったのが参考になった (2)。寝たきり老人対応なども協力体制が必要だと思う
- ・障害に特化したものが今までなかったのが大変ためになった
- ・地域の中で助け合いが重要と分かった。自分でできることを積極的にかかわっていきたい
- ・震災救護所内の点検をします
- ・今まで障害者のことを考えてなかったのが勉強になった
- ・それぞれが短い時間だったので集中できた
- ・午前の部すべてが講演というのはすごい試み。短い講演時間のなので聞くのは苦でなかった
- ・画面が遠くて見にくい (2)。耳が悪いので聴きづらい。手元資料はありがたい
- ・障害者がたすけあいネットワークに登録していない方が多いと聞いたが理由を知りたかった
- ・当事者からの話がもう少しあれば、より身近な話が聞けたかと思う
- ・1つ1つ良かったが、やや詰め込み過ぎの感じがした。1つ1つもう少しきちんと話を聞き

	<p>たかった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体の話は有益だったが、区の説明は発展性がなく問題点が明らかになっていない ・前2つの講演の音量が小さく、はっきり聞き取れなかった。「この資料です」とはっきり提示してから講演をしてほしい(2) ・マニュアルの有無の話があるとよかった ・講師はステージに乗ったほうが聞きやすい。公私立の高校も初めから活用してほしい
<p>午後の部 体験ゲーム</p>	<p>(5) 防災体験ゲームをグループで実施しましたが、いかがでしたか ①役に立った・興味深かった(42) ②普通(3) ③あまり役立たなかった ④その他(3)(色んな意見・考え方があることを知りよかった)</p> <p>※ 防災体験ゲームについてお気づきのこと、感想など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初心者にとっては、午前・午後両方受講が良い(午前中「落選」したため) ・各メンバーの立場立場からいろいろな体験の話が聞けて良かった(8) ・模造紙の文字が小さすぎた、折角の内容なのでぜひ大きく書いてほしい ・課題が多すぎてゆっくり検討ができなかったと思う。いろいろ雑談等情報交換したかった ・今後の救援所に役立つ ・初の体験で、何をポイントにすべきか迷った ・地域の防災に関して初めて参加したので、身になる意見が聞けて良かった ・内容が良く吟味されていた ・震災救援所に期待されている内容の個人差が気になった ・災害時には町会・自治会に入っていない、外国人・障害がある無しもちろん、全員で助け合うべきだと感じた ・町会・自治会のコミュニケーションネットワーク構築が重要 ・防災訓練等PTAでしか関わったことがなく、一区民として本日参加し、町会やボランティアなど様々な役割が想定されていることが分かった ・まだまだ考えなければいけない課題がたくさんあると感じました。障害者の対応は今まで考えていないことが多いと思った ・障害者の立場での話が聞けて良かった ・初めてのことなので問題点のピックアップで終わったが、それなりに有意義だった ・もう少し時間がある方が良かった。区政に是非反映してほしい ・活発な交流ができてよかった。ファシリテーターも良かった ・自分がいかに防災について無知かを感じた。勉強のきっかけにしたい ・話し合いの時間が60分とは思わなかった ・アレルギーや、耳・目・身体の障害等、むずかしい ・いろんな気づきがあった。知らないこともあった ・検討時間を各々決めるのも良いかも ・震災救援所連絡会員でも”初動”対応、障害者収容の施設利用計画を知らない人がいてビックリでした ・問題を出し、各々にメモを書かせてボードに貼りそれを発表したほうが多くの意見を聞いたのでは?
<p>1階談話室 展示コーナー</p>	<p>(6) 車いす牽引バー、アンブルボード、感震ブレーカー等防災備品展示(杉並区防災課)</p> <p>①震災救援所の防災器具、備品等を身近で見る事が出来て良かった(31) ②あまり興味がなかった(1) ③見なかった(2) ④その他()</p> <p>※ 展示コーナーについてお気づきのこと、感想など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電機など電源に関するをもっと知りたい ・情報伝達用に救援所に必要なピクトグラムを作って、救援所に配備してほしい ・もっと前に展示しないと見ない ・ある場所がわからなかった ・もう少し展示物があるといいと思った ・もっと实际的に動く体験を!

《ご感想、ご要望、ご意見等自由にお書き下さい。今後の参考にさせていただきます》

- ・まず障害者のことを全く知らない、わかっていないのだなあとと思った。勉強してから防災につなげていけたらと思う。私たちの救援所は、まだ障害者に対しての配慮まで考えられてないので、スペースの問題からもこれからの課題になると思う。二次救援所・福祉救援所があるのを初めて知った
- ・ゲームというので、いわゆるゲームかと思っていたが、まるで違って意外性があった。多様な考えをもらい平時からの備え（ココロとモノ）が必要と思った
- ・まずは自助実践することが多く、実行していこうと思う
- ・様々な障害者がいるので事前にいろいろと検討しておくことが重要であると再認識した
- ・とても参考になるフォーラムで感謝
- ・非常時における「トイレ」問題、各自の用意が必要と思った
- ・町会役員や震災救援所の役員も高齢化が進んでいる中で、中学生レスキュー隊の連携が必要であるにもかかわらず温度差がある感じがする。今後は中学生レスキュー隊の震災救援所への参加や勉強会などについて、区の中で統一された指導をお願いしたい
- ・防災・震災救援所について、地域住民はあまり関心を持っていないと思う。しかしいつでもどこで大きい災害が起こるか分からないので、もっと一人一人が日ごろから考える必要があると思う
- ・自助・共助・公助のあり方を考えさせられた。誰でもが障害者となる可能性がある中、社会的弱者を助け、想像力を働かせながら、自助努力とご近所とともに助け合う姿勢、公的な援助（区の助成金など）を活用しながら防災に向けて物心ともに準備したいと思った
- ・現代社会は何かとプライバシーという問題が出てくる。近所付き合いは特にマイナスになっている。障害者の家族も隠すことなく普通に生活できる社会になるといい。隠すとより差別意識が出てくると思う
- ・自分も障害者、たすけあいネットワークの協力員でもある立場から、障害者は「助けて」といえるように、かつ助けてもらうからには障害の程度や困りごとを常日頃から話しておく必要がある。努力も大切だと思っているし、障害者の立場も理解できるので協力していきたいと思って町会の活動なども行っている。助けてくれる人を作る努力をするべき。